

# 球技（ネット型）の内容の体系化

学校種		中学校	
発達の段階 (領域の内容)		第1学年・第2学年	第3学年
技能	解説	<p>ラリーを続けることを重視して、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きなどによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。</p> <p>「ボールや用具の操作」とは、基本となる用具の握り方（グリップ）、ボールを受ける前の身体や用具の構え方（準備姿勢）から、ボールをとらえる位置への移動の仕方（ステップ）、腕や用具の振り方（テイクバックやスイング）、ボールのとらえ方（インパクト）、ボールをとらえた後の身体や用具の操作（フォロースルー）などで、身体や用具を操作してボールを味方につないだり、相手側のコートに打ち返したりすることである。</p> <p>「定位置に戻るなどの動き」とは、相手側のコートにボールを打ち返した後、基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻り次の攻撃に備えるなどのボールを持たないときの動きのことである。</p>	<p>ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。</p> <p>「役割に応じたボール操作や安定した用具の操作」とは、仲間と連携した効果的な攻防を展開するためにゲーム中に果たすべき役割に応じて、ボールを一連の動きで用具を操作したりして、味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりすることである。</p> <p>「連携した動き」とは、空いた場所を埋める動きなどの仲間の動きに合わせて行うボールを持たないときの動きのことである。</p>
	例示	<p>ボールや用具の操作</p> <p>①サービスでは、ボールやラケットの中心付近でとらえること。 ②ボールを返す方向にラケット面を向けて打つこと。 ③相手側のコートの空いた場所にボールを返すこと。 ④味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと。 ⑤テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むこと。</p>	<p>⑨サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ⑩ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ⑪攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること。 ⑫ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ⑬腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ⑭ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。</p>
		<p>ボールをもたない動き</p> <p>⑥相手の打球に備えた準備姿勢をとること。 ⑦プレイを開始するときは、各ポジションごとの定位置に戻ることに。 ⑧ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対すること。</p>	<p>⑮ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。 ⑯関係プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>